

# JR東海労なごや

2025年2月16日No.1248  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：松山文成  
編集者：教宣部

ゆとりある生活を勝ち取るために  
職場から2025春闘を闘おう！

## 第38回定期中央委員会 成功裡に終わる！

2月11日、JR東海労は第38回定期中央委員会を開催し、これまでの闘いの総括と2025春闘を中心として、更に労働者の連帯を目指して闘っていくことを確認しました。



本部淵上委員長

淵上委員長は、挨拶で「JR総連との決別により、JR東海労の闘いの足を引っ張る人たちはいなくなった。堂々と闘う労働組合として、全ての労働者の連帯を目指して、今2025春闘を闘っていこう。未組織労働者との連帯を目指す具体的な取り組みとして、JR東海労本部内に『労働者支援相談センター』を立ち上げたい」と訴えました。

名古屋地本御辺委員は「昨年の地本大会で松山新委員長を選出し奮闘してきた。現職副委員長2名の脱退と一部OB等による組織破壊攻撃を跳ねのけ闘ってきた。発想の転換・意識を変えることでまだまだ未来はある。名古屋地本は今後も関連会社で働く労働者に働きかけ共に闘う仲間を結集し東海の地に労働運動の火を燃やし続ける決意です。」と発言しました。



名古屋地本御辺委員

来賓として、JS労柳楽委員長、本部OB会増田会長が出席され共に連帯のあいさつを受けました。



増田OB会長へ檄を手渡す松山地本委員長



名古屋地本第35回  
定期地本委員会の  
圧倒的成功を勝ち取ろう！

2月22日(土)14時～  
牧野コミュニティセンター